

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171600226		
法人名	社会福祉法人 歌垣福祉会		
事業所名	グループホーム うたがきの里		
所在地	佐賀県杵島郡白石町大字築切264番地1		
自己評価作成日	平成21年11月29日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigojouhou-saga.jp/kaigosip/Top.do
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成21年12月17日	外部評価確定日	平成22年2月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>私達のグループホームは、学校の敷地前に位置し周りは田畑が見渡せ、子供達の声が間近に聞こえとっても良い環境の中にあります。以前は学校の周辺をぐるりと散歩していましたが、だんだんとそれも無理になり今はホームから200mあまりの近くにあるお地蔵さんにお参り兼ねた散歩をしています。職員は資質向上の為資格取得に努め、利用者の心のケア、寄り添う介護を目標に報連相ノート、ヒヤリハットノートを活用して職員全員の意識統一を図り互いに助け合いの心をもって頑張っています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>基本理念である「敬愛・親愛・友愛の精神と、出会い・ふれあい・語り合いの心で高齢者福祉に貢献します」の実現に向けて全職員が心一つにして、利用者の支援・介護にあたっているグループホームである。利用者と家族は職員を信頼し、職員は利用者を人生の先輩として接している。そして利用者と心が通い合うことに、喜びや働き甲斐を感じている。笑顔で利用者や家族と接し、何でも相談し、また、要望や意見も言い易い雰囲気づくりを心がけている。</p> <p>地域とのつながりを大事にし、散歩や買い物の途中で話しかけたり、挨拶を交わしたりしている。知り合いの方の訪問もあっている。事業所は小学校や保育所と隣接しており、保育園児や小学生を見かけたり、挨拶を交わしたりするのは、利用者の楽しみの一つである。これまで馴染んだ場所へも出かけている。</p> <p>事業所内の広いウッドデッキでの焼肉会や食事、外の景色や自家菜園を眺めながらの休息も楽しみの一つである。広い園内に咲く桜の下での花見も楽しい行事の一つとなっている。</p> <p>利用者、家族、地域の声や職員の意見を運営に反映しながら、地域の中にとけこむ努力を重ねている。</p>

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価/ユニットA (事業所記入欄)	自己評価/ユニットB (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝朝礼時に唱和し理念の実践を目指している	毎朝朝礼時に唱和し理念の実践を目指している	基本理念を実現するための目標の一つに地域との交流を謳っている。目標の見直しも行われている。理念や目標を毎日の朝会で唱和するだけでなく、理念の具体的な姿についても随時話し合っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	自治会の広報紙やお知らせを配ってもらったり地域の知人の訪問を受けたりしている。またクリーンデーの参加や地元消防団の協力を得て夜間の避難訓練を実施している	自治会の広報紙やお知らせを配ってもらったり地域の知人の訪問を受けたりしている。またクリーンデーの参加や地元消防団の協力を得て夜間の避難訓練を実施している	地域の自治会に進んで加入し地域住民の一員としての役割を果たしている。地域の清掃活動、空き缶拾い、老人会総会等にも参加している。回覧板は職員だけでなく、利用者も目を通して見ている。散歩や買い物時に地域の方々と積極的に挨拶や会話を交わし、交流に努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	消防団の協力を得て行っている訓練の時に支援の方法などをお話している	消防団の協力を得て行っている訓練の時に支援の方法などをお話している	/	/
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	報告が主であり意見をサービス向上に活かすまでには至っていない	報告が主であり意見をサービス向上に活かすまでには至っていない	会議では利用状況、行事報告を中心としている。新型インフルエンザへの対応、非常災害マニュアル、スプリンクラー設置、地域敬老会への誘い等、その時に応じた話し合いがもたれている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進委員会に出席をお願いしやっとなじみになった。協力関係を築ける様努めている	運営推進委員会に出席をお願いしやっとなじみになった。協力関係を築ける様努めている	運営推進会議での行政との結び付きだけでなく、管理者が町の福祉担当者や会える機会も多い。最新の情報を得たり、運営上必要な場合、行政の協力をお願いもしている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束ゼロに取り組んでいます	身体拘束ゼロに取り組んでいます	身体拘束の事例はない。玄関の出入りも昼間は自由である。言葉による拘束や精神的な拘束も無い様に、会議や勉強会でも取り上げている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体の虐待防止は徹底できているものの言葉による虐待が利用者の受け取り方によってはなきにしもあらず、もの盗られ妄想の方がおられ誰も盗っていないと答えるのは本人にとっては騙されていると思っておられるのではないかと疑問がある	身体の虐待防止は徹底できているものの言葉による虐待が利用者の受け取り方によってはなきにしもあらず、物盗られ妄想の方がおられ誰も盗っていないと答えるのは本人にとっては騙されていると思っておられるのではないかと疑問がある		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する制度を学ぶ機会があったが支援にまでは至っていない	権利擁護に関する制度を学ぶ機会があったが支援にまでは至っていない		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	丁寧な説明をするよう心がけている	丁寧な説明をするよう心がけている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者からの声は介護相談員を受け入れ聞いてもらったり利用者本人から相談を受けたりしている	利用者からの声は介護相談員を受け入れ聞いてもらったり利用者本人から相談を受けたりしている	面会時や家族も一緒に参加しての行事、電話等で、家族の意向や気持ちを把握している。声なき声には特に気を配っている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の職員会議の時意見を聞き実行できるものは実行している	月1回の職員会議の時意見を聞き実行できるものは実行している	日頃から職員間の意思が通じやすい様な運営を心掛けている。職員会議や日常の打ち合わせ時にも多くの意見が出ている。また、菜園担当等それぞれの職員の特性を活かした運営もなされている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課を実施している 育児休業が取得しやすいよう職員の体制を整備している	人事考課を実施している 育児休業が取得しやすいよう職員の体制を整備している		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各種研修会(外部研修)に積極的に参加させている 内部研修(全体研修)及び資格取得のための研修を実施している	各種研修会(外部研修)に積極的に参加させている 内部研修(全体研修)及び資格取得のための研修を実施している		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修会参加時の交流	外部研修会参加時の交流		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居されるまでに自宅訪問あるいはホーム見学に来てもらい会話をして少しでも慣れてもらえるよう努めている	入居されるまでに自宅訪問あるいはホーム見学に来てもらい会話をして少しでも慣れてもらえるよう努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居申し込み、アセスメントの時点から協力、相談に乗れるよう努めている	入居申し込み、アセスメントの時点から協力、相談に乗れるよう努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	まず本人の声を聞き家族の希望と合わせ必要な支援を見極めるよう努めている	まず本人の声を聞き家族の希望と合わせ必要な支援を見極めるよう努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩の教えを請い知恵を借り共に支えあう関係を築いている	人生の先輩の教えを請い知恵を借り共に支えあう関係を築いている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	体調変化など連絡を密にとり共に支えていく関係を築いている	体調変化など連絡を密にとり共に支えていく関係を築いている		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出の支援や面会について気軽にさせて頂けるようお願いしている	盆正月の外泊も難しくなれているが親類家族の集まる家への外出だけでも受け入れてもらえるようお願いしたり電話や出来る限りの面会を気軽にさせていただける様お願いしている	お地藏さんにお参りしたり、近所の馴染みの店に買い物に行っている。自宅近くやかつて生活した場所に出かける事もある。知り合いの方が事業所を訪問することも度々ある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者間にもやはり性格の合う合わないがありそれを見極め良い関係が保てるよう支援している	利用者間にもやはり性格の合う合わないがありそれを見極め良い関係が保てるよう支援している		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された方の家族に会った時などは挨拶を交わす程度	退去された方の家族様に会った時などは挨拶を交わす程度		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人様の思いや希望に添えるよう努めているが振り回されることも多い	本人様の思いや希望に添えるよう努めているが振り回される事も多い	利用者との語り合い、表情、つぶやき、ちょっとしたしぐさ等からも利用者の希望や心を察している。家族や関係者からの諸情報からも意向を把握している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時のアセスメントや日々の会話により把握に努めている	入所時のアセスメントや日々の会話により把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	現状を見るだけでなく日誌、介護記録、報連相ノート、職員会議の時の話し合いなど他の職員のきづきも含め各々の現状把握につとめている	現状を見るだけでなく日誌、介護記録、報連相ノート、職員会議の時の話し合いなど他の職員のきづきも含め各々の現状把握に努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	常にスタッフ間で意識づけをし利用者の変化異常等敏感に察知し気付き等日誌に記録、ケアを工夫し介護計画を作成している	常にスタッフ間で意識づけをし利用者の変化異常等敏感に察知し気付き等日誌に記録、ケアを工夫し介護計画を作成している	利用者の視点に立った、実現可能な具体的な計画が作成されている。地域でその人らしく暮らしていける支援も取り入れられている。計画作成には全職員や利用者、家族も関わっている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	気付き等情報の共有に努めケアに役立てる様努めている	気づき等情報の共有に努めケアに役立てる様努めている		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の状況変化に応じてサービス提供も柔軟に対応しているがまだ検討の余地のあるものもある	本人の状況変化に応じてサービス提供も柔軟に対応しているがまだ検討の余地のあるものもある		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域消防団との避難訓練、友人の訪問、踊りのボランティアの受け入れをしている	地域消防団との避難訓練、友人の訪問、踊りのボランティアの受け入れをしている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	殆どの利用者さんが隣接している医院にかかっている為すぐに対応でき適切な医療を受けられるよう支援している	殆どの利用者さんが隣接している医院にかかっている為すぐに対応でき適切な医療を受けられるよう支援している	本人や家族の希望するかかりつけ医での受診を支援している。隣接医院の希望がほとんどであるが、これまでの病歴や現在の病状によっては、これまでのかかりつけの病院で受診している利用者もある。歯科は訪問診療を利用している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ホームの看護職に情報、気づきを伝え常に相談している。またかかりつけ医の看護師さんにも相談している	ホームの看護職に情報、気づきを伝え常に相談している。またかかりつけ医の看護師さんにも相談している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	情報交換を行っている	情報交換を行っている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族に現状報告を密にしグループホームで出来る事、出来ない事を説明し、現状は夜間の医療対応が出来ない為重度化された場合は病院に入院して頂いている	家族に現状報告を密にしグループホームで出来る事、出来ない事を説明し、現状は夜間の医療対応が出来ない為重度化された場合は病院に入院して頂いている	入居申し込み時に利用者と家族に説明している。入居後、体調の変化があった場合は、主治医を交えて話し合っている。看取り介護の指針等はなく、重度化した場合は、主治医、家族、事業所で話し合い、病院での対応である。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修に参加したりしているが殆どの職員が実践力に関しては不安な気持ちを持っている	研修に参加したりしているが殆どの職員が実践力に関しては不安な気持ちを持っている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回訓練を計画しており地域消防団との合同訓練にて協力体制を築いている	年2回訓練を計画しており地域消防団との合同訓練にて協力体制を築いている	地域消防団も参加しての避難訓練が実施され、反省点も協議されている。夜間を想定して、夕刻時にも実施されている。近隣住民にも協力を要請しているが、避難訓練への参加は実現していない。	地域の方々と一体になった災害対策の更なる充実を期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格の尊重に心がけプライバシーを損ねないように努めているがたまに出来ない事もある	人格の尊重に心がけプライバシーを損ねないように努めているがたまに出来ない事もある	利用者の尊厳を大事にしながら毎日の支援にあたっている。言葉かけや居室への入室許可を得る場合も、その方を尊重したきちんとした態度である。プライバシーを損ねた時は、管理者や主任がきちんと指導している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定に重きをおき自己決定できるように働きかけている	自己決定に重きをおき自己決定できるように働きかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出切る限りその方のペース、希望に合わせた支援を心掛けているが全体の流れを優先した支援になってしまう事もある	出来る限りその方のペース、希望に合わせた支援を心掛けているが全体の流れを優先した支援になってしまう事もある		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理容を利用してさっぱりしてもらったり自由に好みの服を着てもらったりしている	訪問理容を利用してさっぱりしてもらったり自由に好みの服を着てもらったりしている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の希望を聞いたり職員も一緒にテーブルで同じ料理を食べ、また出来ることを見極めお手伝いをお願いしたりしている	食事の希望を聞いたり職員も一緒にテーブルで同じ料理を食べ、また出来ることを見極めお手伝いをお願いしたりしている	各職員が利用者の間に入り、それとなく見守りながら、同じ食事をいただいている。利用者の希望による献立もある。野菜の下ごしらえや、食後の食器運び、布巾で拭く等の自分で出来ることへの支援を行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人に応じた食事量を考えて提供したり減塩食や、自由にお茶等を飲んで頂ける様に準備したりして栄養摂取・水分確保の支援を行っています	一人一人に応じた食事量を考えて提供したり、食欲のない方には少しでも食べられるよう工夫したり、水分を取ろうとされない方には必要性を伝え飲まれる様支援している		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	殆どの方が声掛けが必要、一つ一つ動作の声掛けの必要な方にはそのように対応、週1回義歯洗浄施行	殆どの方が声かけが必要、一つ一つ動作の声かけの必要な方にはそのように対応、週1回義歯洗浄施行		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	各々の排泄パターンにあった排尿誘導を行ったり、間に合わず失敗される方の為にポータブルトイレの設置を行う	排泄の失敗をできる限り減らす為伸縮性のあるパンツにパット、穿きやすいズボン等使用し声かけ誘導、介助を行っている	排泄パターンを把握し、利用者の様子を察知して、さりげなく誘導している。また、失禁を少なくするために、着用する衣類等にも工夫、配慮している。これらによって排泄傾向の改善がみられた利用者もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェックを行い家での習慣であったヤクルト飲用や食物繊維の多い食材を取り入れたり、歩け歩け運動を働きかけ便秘薬の調整も行っている	排便チェックを行い飲食物(ヨーグルト、バナナ、芋)等を提供、歩け歩け等運動を働きかけ便秘薬の調整も行っている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴の曜日は決めている。対応出来る人数の関係で昼間の入浴ではあるが出切る限り個人の希望で午前中に入ったり午後に入ったり入浴時間も本人の希望でゆっくり入ってもらったりしている	入浴の曜日は決めている。対応出来る人数の関係で昼間の入浴ではあるが出来る限り個人の希望で午前中に入ったり午後に入ったり入浴時間も本人希望でゆっくり入ってもらったりしている	一応、入浴出来る曜日を決めているが、希望により毎日でも入浴できる。利用者がゆったりとした気分で入浴出来るように支援している。足浴も取り入れ、喜ばれている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の希望で自由に居室でゆっくり休んだりされている。空調には気をつけている	本人の希望で自由に居室でゆっくり休んだりされている。空調には気をつけている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬支援状態観察に努めている	服薬支援状態観察に努めている		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	軽作業(食器ふき・台拭き・洗濯物畳み)や縫い物、畑仕事など率先され、塗り絵など好きな活動されるように支援している	唱歌、風船バレー、お手伝い、畑仕事、台拭き皆さんが喜ばれる事を見つけ出し支援している		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	身体的にも重度化が進み以前より散歩も減り外出もインフルエンザ流行等もあり減っている。全員揃っての外出はなかなか無理だが希望でドライブや買い物に時々出かけている	身体的にも重度化が進み以前より散歩も減り外出もインフルエンザ流行等もあり減っている。全員揃っての外出はなかなか無理だが希望でドライブや買い物に時々出かけている	事業所の周辺を散歩したり、近くのお地藏さんまで手を合わせに行くなどの外出がなされている。時には近くの店で職員と一緒に食材や、気に入った物を買う事もある。散歩の途中で小学生と挨拶したり、知り合いの方と言葉を交わしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は所持しておられないが家族より小遣いを預かっており希望があれば使える事を話している。しかし度々付き合いの包み金を希望され対応に困った例もある	お金は所持しておられないが家族より小遣いを預かっており希望があれば使える事を話している。しかし度々付き合いの包み金を希望され対応に困った例もある		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話希望者には取次ぎを行い、手紙をかかれる場合は葉書・ペン・切手など準備した	手紙は「字がよく見えん やぐらしゆなった」と勧めても書こうとされなくなった。電話は家族の方から掛けてもらった		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花や壁掛けを飾ったり、夜間はテレビの音量を調節したり、レースのカーテンや天窓のブラインドで採光を調整している	西日を防ぐためカーテンをしたり明かりのりのブラインドを加減したり、季節の花を飾ったりと工夫した	室内は自然の光で明るく、カーテンやブラインドで採光を調整している。テレビは利用者が視聴したい時だけの利用である。食事を作る匂いや音も五感に訴えている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブル席とソファ、畳の間とあり思い思いに過ごしてもらっている。またウッドデッキ、玄関に椅子を並べて外の空気を吸って頂いている	テーブル席とソファ、畳の間とあり思い思いに過ごしてもらっている。またウッドデッキ、玄関に椅子を並べて外の空気を吸って頂いている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた寝具を持って来られたり、ご主人や孫、ひ孫の写真が飾れたりされている	使い慣れた椅子を持って来られたり、ご主人の位牌を持って来られたり、また孫やひ孫の写真が飾られたりされている	各居室とも利用者が心安らかに落ち着いてくつろげる場所になっている。座卓、鏡、畳、小さい仏壇、季節に合った洋服、基盤、文庫本、寝具、家族の写真、その他色々な使い慣れた品や気に入った物が見受けられる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりを付け、名前札を付け、トイレの場所をわかり易くし、食後の口腔ケア用の歯磨きセットを洗面台に準備し自分で出来る様に工夫している	手すりを付け、名前札を付け、トイレの場所をわかりやすくし、洗面所に椅子を置いたり出来る限り自分で出来るように工夫している		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)

※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓ 該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○		1. ほぼ全ての利用者の
			○	2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)			1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
		○		3. 利用者の1/3くらいが
			○	4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓ 該当するものに○印をつけてください				
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○		1. ほぼ全ての利用者が
			○	2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない